

#この手で止める

STOP THE **WAR ON CHILDREN.**

紛争下の子どもを守ろう



Save the Children
100 YEARS

ユースワークショップ
参加者募集

参加
無料



空気に重い負傷したイェマンのイマーンが、
© Ahmad Barouqi/Save the Children

“
あらゆる戦争は、
子どもたちに対する戦争です
”

この言葉は、セーブ・ザ・チルドレンの創設者であるエグランタイン・ジェブの言葉です。100年たった今も、何百万人の子どもたちが、彼らには何の責任もない紛争に巻き込まれ、権利を侵害されています。今、この瞬間も、世界の紛争地域で恐怖の中にいる子どもたち。私たちはどうしたら、彼らを守ることができるのでしょうか。

東京【千代田区】

会場

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 東京事務所
東京都千代田区内神田2-8-4山田ビル4F
TEL.03-6859-0070

開催日時 各回 14:00~16:30

Ⓐ 8月22日(木) Ⓑ 9月5日(木)

Ⓒ 9月13日(金)

大阪【大阪市】

会場

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 大阪事務所
大阪府中央区高麗橋2-2-3 ツクダビル3F
TEL.06-6232-7000

開催日時 13:00~15:30

Ⓓ 9月12日(木)

定員

各回 20名 ※定員に達し次第、締め切ります

対象

国際協力や子どもの権利に関心のある18歳以上の学生

※18歳未満の方で参加ご希望の場合はご連絡ください。
※学生以外の方の参加も可能です。

お申込方法

それぞれ開催日の1週間前までに、
ウェブサイトの申込みフォームより
お申し込みください

<https://www.savechildren.or.jp>

参加費

無料



申込みフォーム

お問い合わせ

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
japan.advocacy@savethechildren.org

個人情報の取り扱い:セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでは、業務上取り扱う全ての個人情報は、個人情報保護法その他の法令並びに当団体の個人情報保護方針などに則り適正に管理します。お預かりする個人情報は、当団体の活動の目的にのみ使用します。

また当日は、報道機関や報道関係者による取材や写真・動画撮影の可能性があります。報道機関による撮影が行われる場合は、撮影された映像・画像がテレビ、新聞等の各種媒体において利用されることがあります。撮影やインタビューを希望されない場合は、事前に必ずお知らせください。また、セーブ・ザ・チルドレンは、本イベントの開催記録と広報(ウェブ・SNS・報告書等)のため、写真の撮影を行います。個人が特定される形では撮影いたしません、ご都合の悪い方は当日スタッフにお声かけください。

子どもに対する戦争を止めるために、 あなたの力が必要です

「紛争下の子どもを守るといっても、自分にできることがあるのだろうか…」。そのような想いを抱く人は多いのではないのでしょうか。しかし、私たちが行動することで、世界の子どもたちの状況に変化を及ぼすことができます。今も5人に1人の子どもが紛争地域に暮らし、恐怖と共に生きています。彼らが置かれている状況や、それに対して私たちができることを、参加者やセーブ・ザ・チルドレンのメンバーと一緒に考えましょう。



目を負傷したラザンさん(イエメン)
© Mohammed Awadh/Save the Children

主なプログラム

※プログラムは変更する可能性があります。

1. 国際協力と子どもの権利
2. セーブ・ザ・チルドレンの活動紹介
3. 紛争下の子どもの状況とは？
4. グループワーク・発表



ワークショップの前半は、国際協力の概要や子どもの権利について、またセーブ・ザ・チルドレンの各国での活動内容、そして紛争下の子どもたちが置かれている状況を説明します。後半は、紛争下にある子どもたちの具体的なストーリーを通し、自分たちにできることをグループごとに考え、発表します。答えは一つではありません。このワークショップを、遠くの世界で起きていることをより身近に感じ、次の行動に移すための一歩とする機会にしてください。



ワークショップのファシリテーターは、NGOセクターだけでなく、民間企業での就業経験もあるセーブ・ザ・チルドレンのメンバーが務めます。国際協力や子どもの権利に関する知識を深めたい方、また国際協力の現場で働いてみたい方やNGOの活動に興味がある皆さんと一緒に学ぶことを楽しみにしています。



セーブ・ザ・チルドレンは、日本を含む世界120ヶ国で子ども支援活動を行う、民間・非営利の国際NGOです。すべての子どもの生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現された世界を目指し、緊急・人道支援、保健・栄養、教育などの分野で100年にわたり活動しています。